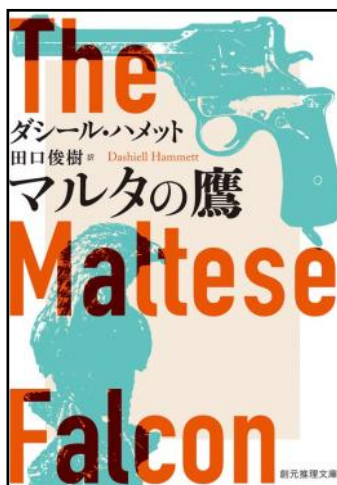


# 名作文庫通信

2025年秋号

新刊ご案内



『マルタの鷹』

ダシール・ハメット／著 田口 俊樹／訳  
創元推理文庫／刊

私立探偵のサムは、若い女性から駆け落ちした妹の  
相手を探るよう依頼されるが、その男を尾行していた  
サムの相棒も対象の男も殺されてしまう。さらにサム  
は謎めいた女と鷹の像をめぐる抗争に巻き込まれて  
いき…。

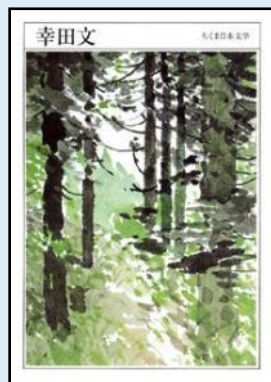
「TRC MARC」より

# ちくま日本文学 文庫版

## 005 幸田文

尾崎翠／著 筑摩書房／刊

勲章／姦声／髪／段／雛／笛／  
鳩／黒い裾／蜜柑の花まで／浅  
間山からの手紙／結婚雑談／長  
い時のあと／みそっかす／対談樹  
木と語る楽しさ



幸田文(こうだあや) 1904-1990

幸田露伴の次女として東京に生まれる。  
24歳で結婚するも10年で離婚し、娘(青木玉、随筆家)を連れ  
て、実家である露伴のもとに戻る。白内障を患い、寝たきりになっ  
た露伴の看病にあたり、最期を看取った。

露伴の死後、43歳で「雑記」「終焉」「葬送の記」など父を回  
想する随筆を発表し、文筆家として注目を集める。

1950年断筆宣言をし、芸者置屋に住み込み女中として働くが  
病のため約2ヶ月で帰宅。その後は小説も手掛け「流れる」「黒  
い裾」「闘」などで数々の文学賞を受賞する。日本芸術院会員  
に選出される。

人気作家となり座談会やラジオ出演など活動の幅を広げる。ま  
た奈良法輪寺の焼失した三重塔の再建に尽力した。

# 詩を楽しむ

詩は言葉で表現した芸術といわれます。言葉や文章から情景を思い  
浮かべ、音の美しさ、リズムを感じ、詩を楽しんで下さい。

## 金子みすゞ名詩集 2

金子 みすゞ／著 彩図社文芸部／編纂  
彩図社／刊

金平糖は 夢みてた。春の田舎の お菓子屋の  
硝子のびんで 夢みてた。(「金平糖の夢」より)  
「お花だったら」「冬の星」「ながい夢」など、  
今なお私たちの胸を打つ金子みすゞの美しい  
詩の数々を紹介する。「TRC MARC」より

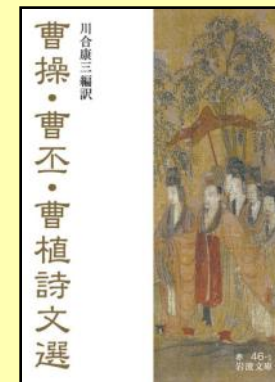


## 曹操・曹丕・曹植詩文選

曹操・曹丕・曹植／著 川合康三／編訳  
岩波文庫／刊

「三国演义」の物語で知られ、生涯を戦さに過  
ごした曹操・曹丕・曹植。彼らは中国の文学に  
新たな歴史をひらいた、すぐれた文人でもあっ  
た。甲冑の内に秘めた魂を伝える詩文に、詳細  
な注解を付す。諸葛亮「出師の表」も収録。

「TRC MARC」より





季刊「名作文庫通信」  
3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館  
杉並区下井草3-26-5  
電話:03-3396-7999